



EU-Japan Centre  
for Industrial Cooperation

日欧産業協力センター

JETRO

Japan External Trade Organization

# アジア太平洋と欧州貿易圏の架け橋

- 日 EU・EPA の戦略的意義 -

日時: 2016年2月10日(水) 14:30-17:00

場所: ビジネスフランス、大会議場

77 Boulevard Saint-Jacques, 75014 Paris

本セミナーは、関係者がアジア太平洋と欧州におけるダイナミックな貿易政策を理解し、グローバルな包括的かつ統一的貿易ルールの確立の重要性と、日 EU・FTA/EPA 交渉の早期かつ野心的な合意の戦略的意義を共有する機会を提供する。

近年、貿易投資ルールの策定において、地域貿易協定 (RTAs)、もしくは、ITA といった有志国による複数国協定が益々進展してきている。昨年10月、歴史上最大の地域貿易協定である TPP が大筋合意に達した。本合意は、新興国を含むアジア太平洋諸国における経済成長の基盤として、新たな、かつ、高いレベルでの基準を提供するとともに、その成果は当該マーケットへの参入をめざす欧州産業界にももたらされる。

現在、世界の成長の中心はアジア太平洋地域にある。この旺盛な経済成長力を取り込んでいくために、EU は、ベトナムやシンガポール、カナダとの FTA 締結、米国との貿易交渉 (TTIP) の開始など貿易協定締結に積極的に取り組んでいる。

このような状況の下、アジア太平洋と欧州という二つの巨大な貿易圏の橋渡しを行うことは、グローバルな包括的かつ統一的貿易投資ルールによって、シームレスなビジネス環境を構築する上で急務である。かかる取組みは、将来の海外での新たなビジネス機会を模索している中小企業にとって、特に重要である。

かかる観点から、日 EU・FTA/EPA は、アジア太平洋と EU の「経済的架け橋」として今まで以上に重要である。この合意が実現すれば、アジア太平洋地域と欧州という二大経済圏における先進的経済ルールを通じて、相互の貿易・投資の強化とともに、更なる成長がもたらされる。しかしながら、その戦略的重要性にもかかわらず、現在、本交渉は最終局面にあるものの膠着している。この困難を乗り越えるため、本セミナーは、本交渉の早期かつ野心的な合意に向けた支援を呼びかけ、オープンで透明性のある対話を促進するものである。



EU-Japan Centre  
for Industrial Cooperation

日欧産業協力センター

JETRO

Japan External Trade Organization

プログラム

- 14:00-14:30 受付開始
- 14:30-14:35 開会挨拶  
池森 啓雄 ジェトロパリ事務所所長
- 14:35-15:35 キーノートスピーチ  
  
上田隆之 経済産業省経済産業審議官  
Mr. Marco CHIRULLO 欧州委員会貿易総局日 EU・FTA/EPA 首席交渉官代理  
Mr. Ken ASH OECD 貿易・農業局長  
Prof. Patrick MESSERLIN パリ政治学院 (シアンスポパリ、IEP) 名誉教授  
Mr. Antoine D' ESPOUS フランス・シャルキュトリ・ケータリング・  
食肉加工業連盟 (FICT) 副会長
- 15:35-15:45 コーヒーブレイク
- 15:45-16:45 ラウンドテーブル  
  
モデレーター: Dr Françoise NICOLAS, 仏国際関係研究所 (IFRI)  
アジアセンター所長
- 16:45-16:55 質疑応答
- 16:55-17:00 閉会挨拶  
樋口 愛子 日欧産業協力センター欧州事務所代表